

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す生徒像含む）

（1）基本目標

- 心豊かで思いやりのある生徒の育成（情操）
- 主体的に学び考え深い生徒の育成（創造）
- からだを鍛えたくましい生徒の育成（健康）

（2）具体目標（具体的な児童生徒像など）

「めざす生徒像」・・・思いやりのある生徒、主体的に学ぶ生徒、心身を鍛える生徒

「めざす教師像」・・・愛と情熱に溢れる教師、みがき合う教師、実践力のある教師

「めざす学校像」・・・学び合える学校、ともに伸びる学校、地域とともに歩む学校

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

生徒のよりよい成長のためには、教職員がプラス思考で組織的に行動すること、及び教職員と保護者・地域住民とが連携を密にすることが重要である。そこで、地域と一体になった教育活動を展開しながら社会性や郷土愛を育むとともに、生徒及び教職員が、互いに学び合い高め合う集団を形成し、生徒が夢や希望に向かっていきいきと活動できる学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- （1）確かな学力の育成を図り、生徒が自信や志をもち、主体的にいきいきと学べる学校づくりに努める。
- （2）豊かな心とたくましい体の育成を目指し、基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成、及び健康で安全な学校生活の実現に努める。
- （3）信頼される学校・活力ある学校・地域とともに歩む学校を目指し、家庭や地域との連携・協力を深めながら、創意ある教育活動に努める。
- （4）教職員が互いに学び、高め合う協働的な同僚性の育成と専門的資質・能力の向上を図るとともに、業務改善の推進により勤務意欲の向上に努める。
- （5）○地域学校園としての「目指す生徒像」の共有を図り、小・中が連携して地域の教育力を生かした教育活動を推進する。

〔雀宮地域学校園教育ビジョン〕

一人一人が自らの良さを自覚し、主体的に学ぶ児童生徒の育成
～ いきいきとした活動を通して ～

4 教育課程編成の方針

- （1）関係法令、栃木県教育振興基本計画2020－教育ビジョンとちぎ－，第2次宇都宮市学校教育スタンダードや教育計画に基づき、地域の実態や生徒の発達段階、特性を考慮した特色ある教育活動を展開し、公教育の自覚のもとに、全教職員の理解と協力によって、本校の教育目標の実現を期す教育課程とする。
- （2）「人間尊重の精神」を基盤とし、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を目指し、各教科・道徳科・特別活動、総合的な学習の時間の相互の関連と調和を図る。
- （3）学習指導要領に基づいた各教科の目標・指導内容を明確にし、基礎的、基本的な内容の確実な定着と個に応じた適切な学習支援や習熟度別学習等の工夫を図り、個性の伸長と学力向上を目指す教育課程とする。
- （4）地域に根ざした豊かな体験活動（地域交流活動、地域貢献活動、社会体験活動）を教育課程に位置づけ、地区内小学校との連携を図った社会性育成のプログラムとする。
- （5）生徒の体力向上及び心身の健康の保持増進に努め、心と体の健康に関する指導や食育をより充実する教育課程とする。
- （6）特別支援教育の主旨に基づき、個に応じた指導体制の整備に努め、学校内外の関係機関やそれらの支援機能を生かした運用を図る。
- （7）雀宮地域学校園内の小中教員の交流を図るため、連絡会議等を年間行事予定に位置づける。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学 校 運 営】
「業務改善の推進と地域の教育力の活用による、いきいきとした学校づくり」
・業務改善の推進による、職員の勤務意欲の向上と生徒と向き合う時間の確保
○地域の教育力を生かした「地域とともに歩む学校」づくり
【学 習 指 導】
「基礎的知識・技能を活用しながら、主体的に考え、表現できる生徒の育成」
○基礎・基本の確実な定着と、わかる授業・できる授業の実践
・学習目標の明確化と振り返り活動の充実、及び「主体的・対話的で深い学び」の視点での指導法や授業形態の工夫による「思考力・判断力・表現力」の育成
【児 童 生 徒 指 導】
「夢や希望に向かって挑戦する、たくましい生徒の育成」
○温かい人間関係のもとで、自分の良さを発揮しながらいきいきと活動できる生徒の育成
・一人一人の良さを認め、励まし、称賛して自己肯定感・自己有用感を高める指導の充実と、互いに認め合い助け合う集団の形成による、いじめ・不登校等問題行動の未然防止
・耐性（我慢する、あきらめない、くじけない）を育む指導の充実
【健康（体力・保健・食・安全）】
「食と健康に対する関心を深め、体力の向上を目指す生徒の育成」
○生涯を通じて健康なからだを維持していくための基盤づくり
・健康と食の安全確保のための指導の充実と、体力の向上を目指すための工夫を凝らした教育活動の推進

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目指す生徒の姿	A1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる。」 ⇒教職員・生徒の肯定的回答各 80%以上	・より組織的に学力向上を図っていくため、教科部会を通して、本校の学力の実態を共有して到達目標を設定し、共通した指導上の工夫を各教科で検討・実践していく。 ・授業研究会等で一人一人の生徒の学ぶ意欲を喚起できる方策を探求し実践する。	B	【達成状況】 肯定的回答は教職員 100.0%、生徒 92.8%で、目標を達成した。 【次年度の方針】 ・より組織的に学力向上を図っていくため、教科部会を通して本校の学力の実態を共有し、到達目標を設定し、共通した指導上の工夫を各教科で検討・実践していく。 ・教員同士で授業を公開し、生徒の学ぶ意欲をより効果的に引き出す授業形態や指導法を互いに探求し合い実践する。
	A2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」 ⇒各対象者の肯定的回答 80%以上	・道徳科の授業を核として、全校体制で思いやりの心を育む指導の充実を図る。 ・あいさつは思いやりの表現の一つとの認識のもと、あいさつ指導の充実を図る。	B	【達成状況】 肯定的回答は教職員 97.7%、保護者 88.9%、地域住民 100%、生徒 92.8%で目標を達成した。 【次年度の方針】 ・道徳の授業を通して道徳的心情の醸成を促す。 ・思いやりをもった行動を賞賛する、生徒会による「サプライズ表彰」制度の充実を図り、思いやりの行動を促す。 ・地域学校園あいさつ運動や地域ボランティア活動への積極的な参加を促す。

<p>A3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、決まりやマナーを守って生活をしている」 ⇒各対象者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>・今の自分たちに誇りを持たせる指導を行い、自尊心の向上を目指す。</p> <p>・生徒の考え・意見を尊重し、自主性から主体性へのステップアップを図れるよう指導していく。</p> <p>・「雀中ガイドブック」の周知徹底により、規律のある学校生活を送ることができるようにさせる。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>各対象者の肯定的回答はすべて95%以上と昨年を上回り、目標を達成した。特に、地域住民の評価は昨年同様 100%だった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今の自分たちに誇りを持たせる指導を行い、自尊心の向上を目指す。</p> <p>・生徒の考え・意見を尊重し、自主性から主体性へのステップアップを図れるよう指導していく。</p> <p>・「雀中ガイドブック」の周知徹底により、規律ある学校生活を送ることができるようにさせる。</p>
<p>A4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒各対象者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>・あいさつ運動や地区内小学校と連携した朝の登校指導(あいさつ、声かけ)の実施など、生徒主体の活動を継続する。</p> <p>・PTAや地域との連携強化を図る。</p> <p>・教師が率先垂範を心がける。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>全項目とも 90%を越え、目標を達成した。しかし、教職員、地域住民、生徒の肯定的回答は昨年を上回ったが、保護者の評価はわずかに低下している。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今後も、あいさつ運動や地区内小学校と連携した朝の登校指導(あいさつ、声かけ)の実施など、生徒主体の活動を継続する。</p> <p>・PTAや地域との連携強化を図る。</p> <p>・教師が率先垂範を心がける。</p> <p>・あいさつ運動の様子などを、各種通信やHPを通して、学校外へ周知していく。</p>
<p>A5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「私(生徒)は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 ⇒教職員、保護者、生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・全校体制で耐性(我慢する、あきらめない、くじけない)を育む指導の充実に取り組む。</p> <p>・生徒が自分の良さを発揮しながらいきいきと活動できるよう、一人一人の良さを認め、励まし、称賛して自己肯定感・自己有用感を高める。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 81.4%、保護者 84.6%、生徒 83.7%であり、目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今後も、全校体制で耐性(我慢する、あきらめない、くじけない)を育む指導の充実に取り組む。</p> <p>・生徒が自分の良さを発揮しながらいきいきと活動できるよう、一人一人の良さを認め、励まし、称賛して自己肯定感・自己有用感を高める。</p> <p>・ダイアリーに定期的に一人一人の良さを書いてあげることに努める。</p>

<p>A6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。」</p> <p>⇒各対象者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・生徒会保健体育委員が中心となって、衛生検査(歯みがき、ハンカチ、ツメ)の方法を工夫して実施するとともに、各学年の昇降口にボールかごを設置・管理し、昼休みに校庭で運動できる環境を整える。</p> <p>・球技大会を企画し、昼休みに運動する機会を増やす。</p> <p>・保護者会や各種だよりで、保護者への啓発を図る。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 95.3%，保護者 90.5%，地域住民生徒 100%，生徒 95.6%で目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・生徒会保健体育委員が、衛生検査を年間を通して継続的に実施する。</p> <p>・生徒が利用できるボールを昇降口に設置し、昼休みに校庭で運動できる環境を整え、運動を促す。</p> <p>・生徒会生活安全委員による、登下校時のマナーアップの呼びかけを行う。</p> <p>・生徒会少年消防クラブによる発表を通して防災・減災意識の高揚を図る。</p>
<p>A7 生徒は、夢や目標をもって社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「私(生徒)は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」</p> <p>⇒教職員、保護者、生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・今後も地域の関係団体や自治会との連携のもと、地域行事・地域活動へのボランティア参加を生徒に呼びかけ、地域の一員としての自覚を高める。</p> <p>・宮っ子チャレンジウィークを活用して、社会のためになることを積極的に行う態度や目標に向かって粘り強く取り組む態度を育む。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 81.4%，保護者 84.6%，生徒の 83.7%で、目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今後も地域の関係団体や自治会との連携のもと、地域行事・地域活動へのボランティア参加を生徒に呼びかけ、地域の一員としての自覚を高める。</p> <p>・宮っ子チャレンジウィークを活用して、社会のためになることを積極的に行う態度や目標に向かって粘り強く取り組む態度を育む。</p>
<p>A8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、英語の授業や ALT との交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」</p> <p>⇒教職員・生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・英語で行うことを基本とした英語科授業を実践する。</p> <p>・英語科の授業において、英語の基本的事項を活用した自己表現活動を積極的に取り入れる。</p> <p>・英語の授業やその他の場面で、ALTとの交流の機会を多く設定する。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 88.4%，生徒 90.4%で、目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・英語で行うことを基本とした英語科授業を実践する。また、基本的事項を活用した自己表現活動や即興の英会話活動を積極的に取り入れ、コミュニケーション能力の伸長を図る。</p> <p>・英語科の授業だけでなくその他の場面で、ALT との交流の機会を多く設定する。</p>
<p>A9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、宇都宮の良さを知っている。」</p> <p>⇒教職員・保護者・生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・社会科の授業で、地域の古墳を教材として扱うなどして、宇都宮の歴史への理解を深め、郷土への愛情と誇りを持てるようにする。</p> <p>・宇都宮百人一首大会など、宇都宮にゆかりのあるイベントを周知し、積極的な参加を呼びかける。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 72.1%，保護者 58.4%生徒 78.8%で、目標を達成することはできなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・社会科の授業では、地域の古墳を教材として扱うなどして宇都宮の歴史への理解を深め、特別の教科「道徳」では、宇都宮への郷土愛に触れ、宇都宮への愛情と誇りを持てるようにする。</p> <p>・食育での「宮っ子ランチ」や宇都宮に関する図書の紹介、宇都宮にゆかりのある宇都宮百人一首大会についてなど、各種たよりやホームページ等での積極的な情報発信を図る。</p>

<p>A10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」</p> <p>⇒教職員・生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・修学旅行や宮っ子チャレンジ等における調べ学習や発表会において、ICT機器や図書等を積極的に活用するよう指導する。</p> <p>・教師は生徒の理解を深めるためのICT機器の活用方法について研修に努め、積極的に活用する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 79.1%，生徒 70.0%で目標を達成することができなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年優先週間を設け、コンピュータ室利用を促進する。 ・ソフトウェア研修を実施し、タブレット型パソコンの活用推進を図る。 ・学校ホームページを通して ICT 機器利用や図書室利用状況を積極的に発信する。
<p>A11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している。」</p> <p>⇒各対象者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・地域におけるボランティア活動や道徳科の授業を通して、高齢者に対する感謝やいたわりの心を醸成する。</p> <p>・体育祭への招待や地域協議会の活動など、高齢者との交流の場を計画的に設定する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 97.7%，保護者 88.9%，地域住民 100%，生徒 92.8%で目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の授業を通して高齢者に対する感謝やいたわりの心の醸成を促す。 ・地域学校園あいさつ運動や地域ボランティア活動への積極的な参加を促すとともに、高齢者との交流の場を計画的に設定する。
<p>A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。」</p> <p>⇒生徒・教職員の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・特設コーナーを設置して、環境や人権に関するポスターを掲示するなどして、生徒の意識の高揚を図る。</p> <p>・古紙回収やプラスチックごみ分別の徹底を図るなど、生徒の実践力を高める。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答 68.6%、教員 42.7%で、目標を達成することはできなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員自ら、持続可能な社会の理解について自己研修に努め、普段の生活に生かすよう努める。 ・特設コーナーを設置して、環境や人権に関するポスターを掲示するなどして、生徒の意識の高揚を図る。 ・古紙回収やプラスチックごみ分別の徹底を図るなど、生徒の実践力を高める。
<p>B1 生徒は、自分の良いところを理解している。【新規】</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「私には、良いところや頑張っていることがある」</p> <p>⇒生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・教育相談や学級活動等を活用して、生徒が自己理解を深め、自分の良さに気付くことができるよう支援する。</p> <p>・生徒同士が互いの良さを認め合うことのできる学級づくりに取り組む。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答は 84.8%で目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多角的な視点で目を配り、生徒の良い言動を見取り称賛し、自己肯定感を高めさせる。 ・教育相談や学級活動等を活用して、生徒が自己理解を深め、自分の良さに気付くことができるよう支援する。 ・生徒同士が互いの良さを認め合うことのできる学級づくりに取り組む。

目 指 す 学 校 の 姿	<p>B2 生徒は、家庭学習の習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「私は、毎日家庭学習に取り組んでいる」 ⇒生徒の肯定的回答 90%以上</p>	<p>・その日の授業の復習を主眼とした内容充実を目指した取組を継続する。</p> <p>・能力に応じた目標設定と実施計画の立て方などについて個別の支援を充実させる。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答は 96.1%で、目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・家庭学習ノートの提出率については一定の成果を収めることができた。その日の授業の復習を主眼とした今年度の取組を継続する。</p> <p>・能力に応じた学習目標の設定と実施内容の精査などについて、個別の支援を充実させる。</p>
	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・生徒一人一人の特性や障がい把握し、教職員間で支援の方法など共通理解を図る。</p> <p>・特別な支援が必要な生徒に対して、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成・活用し、学校全体で指導にあたる。</p> <p>・保護者やスクールカウンセラー、メンタルサポーター、関係機関と連携しながら支援にあたる。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答は 97.7%で、目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今後も個に応じた指導の充実を図るため、以下の取組を継続していく。</p> <p>・生徒一人一人の特性や障がい把握し、教職員間で支援の方法などについて共通理解を図る。</p> <p>・特別な支援が必要な生徒に対して、個別の教育支援計画や個別の指導計画を作成・活用し、学校全体で支援にあたる。</p> <p>・保護者やスクールカウンセラー、メンタルサポーター、関係機関と連携して支援する。</p>
	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる。」 ⇒各対象者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・生徒指導だよりや学校ホームページ、保護者会などで、生徒・保護者・地域住民に向けて本校のいじめ対策について積極的に情報を発信していく。</p> <p>・いじめゼロ集会など生徒主体のいじめ撲滅に向けた活動を実施して、いじめ等の未然防止を図り、「信頼される学校づくり」に努める。</p> <p>・いじめアンケートの実施により、未然防止と早期発見・早期対応の徹底を図る。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答は昨年を上回ったが、教職員や保護者・地域住民では低下した。特に、保護者の肯定的回答は 74%であり、目標を達成できなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・学校だよりや生徒指導だより、学校ホームページ、保護者会などで、生徒・保護者・地域住民に向けて本校のいじめ対策について積極的に情報を発信していく。</p> <p>・いじめゼロ集会など生徒主体のいじめ撲滅に向けた活動を実施して、いじめ等の未然防止を図り、「信頼される学校づくり」に努める。</p> <p>・いじめアンケートの実施により、未然防止と早期発見・早期対応の徹底を図る。</p>

<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「教職員は、不登校を生まないよう一人一人の生徒を大切に、生徒とともに認め励まし合う学級づくりを行っている。」</p> <p>⇒教職員・生徒・保護者の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・欠席時には電話連絡や家庭訪問を積極的に行う。</p> <p>・スクールカウンセラーやメンタルサポーター、保護者等との連携体制を強化する(教育相談部会の充実)。</p> <p>・教育相談週間に加え、常時、チャンス相談を活用して、生徒の悩みや不安への早期対応に努める。</p> <p>・温かい雰囲気学の学級経営及び、互いに認め合い、助け合う集団づくりに努める。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 100%、生徒 95.2%、保護者 95.7%で目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今年度、不登校生徒数が減少するなど一定の成果を上げることができたことから、以下の取組を継続する。</p> <p>・欠席時には電話連絡や家庭訪問を積極的に行う。</p> <p>・生徒の情報を早期に共有し、担任だけでなく複数の教員で支援する。</p> <p>・スクールカウンセラーやメンタルサポーター、保護者等との連携体制を強化する(教育相談部会の充実)。</p> <p>・教育相談週間に加え、常時、チャンス相談を活用して、生徒の悩みや不安への早期対応に努める。</p> <p>・温かい雰囲気学の学級経営及び、互いに認め合い、助け合う集団づくりに努める。</p>
<p>A16 教職員は、外国人生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする生徒や外国人生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。」</p> <p>⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・外国人生徒の願いや実態把握に努める。</p> <p>・関係機関と連携しながら支援にあたる。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <p>教職員の肯定的回答は 97%で、目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今年度はじめ、海外からの体験入学生徒が来校したが、教職員・生徒とともに、実態に配慮した対応をすることができた。現時点では外国人生徒は在籍していないが、必要に応じて今後も以下の取組を行う。</p> <p>・外国人生徒の願いや実態把握に努める。</p> <p>・関係機関と連携しながら支援にあたる。</p>
<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。」</p> <p>⇒各対象者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>・全教職員共通理解のもと、生徒を認め、励ます教育を推進して教職員と生徒の温かい人間関係、信頼関係を構築する。</p> <p>・生徒会活動や学校行事等において、実行委員会を中心とした生徒の主体的な活動を多く取り入れる。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は、教職員・保護者・地域住民が 95%以上であったが、生徒は 89.8%で目標を達成することができなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・生徒を認め、励ます教育を推進して教職員と生徒の温かい人間関係、信頼関係を構築する。</p> <p>・実行委員会を中心とした生徒の主体的な活動を多く取り入れ、達成感や充実感が味わえるようにする。</p>

<p>A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている。」 ⇒教職員・保護者・生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通して、「思考力・判断力・表現力」の育成を図る。</p> <p>・校内研修を実施して教職員間の共通理解を図る。</p> <p>・一人一公開授業に取り組み、授業力の向上に努める。</p> <p>・生徒一人一人の理解度に応じた指導を充実させるため、授業形態の工夫やチームティーチング、習熟度別学習のより効果的な運用に努めるなどして、基礎・基本の確実な定着を図る。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は教職員 100%，保護者 87.8%，生徒 92.4%で、目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・「思考力・判断力・表現力」の育成を図るため、一人一公開授業や教科部会などの校内研修を実施しながら、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善に取り組む。 ・学習目標の提示と振り返り活動の確実な実施を継続させ、生徒がわかったことを実感できる授業作りに努める。 ・生徒一人一人の理解度に応じた指導を充実させるため、チームティーチングや習熟度別学習のより効果的な運用に努めるなどして、基礎・基本の確実な定着を図る。</p>
<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・多様な専門性を有する学校スタッフ※と教職員が相互理解を図るため、職員会議等を活用して、学校スタッフそれぞれの専門性や業務内容・形態などについて共通理解を図る。</p> <p>・互いの専門性を生かせるよう積極的に情報交換を行う。</p> <p>※スクールカウンセラー、メンタルサポーター、かがやきルーム指導員、学校図書館司書、栄養教諭、学力向上非常勤嘱託員、学校業務嘱託員など</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 97.7%で目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・全教職員がそれぞれの専門性を生かしながらチームとして取り組み、学習指導や生徒指導の充実を図っていく。 ・スクールカウンセラー、メンタルサポーター等が参加するケース会議を積極的に開催し、多様な専門性に基づく情報交換を行う。 ・習熟度別学習やチーム・ティーチングの積極的な実施、かがやきルーム指導員との連携強化により、基礎学力の向上を図る。</p>
<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・リフレッシュデーを設定したりICTを活用したりして、業務改善と勤務時間を意識した働き方改革を推進し、教職員が生徒と向き合う時間を確保できるよう努める。</p> <p>・学校スタッフの活用により教職員の業務が縮減された事例を収集し、自校化を図る。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答は 65.1%で目標を達成することができなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・他校の事例を積極的に収集し、自校化を図る。 ・教職員の時間に関する意識改革やICTの活用による業務の効率化を図るなどして、「授業の改善を図るための時間」や「生徒と向き合うための時間」の確保に努める。</p>
<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。」 ⇒各対象者の肯定的回答 各 80%以上</p>	<p>・小中の交流活動（あいさつ運動や南図書館除草作業）を継続して行い、多くの生徒たちが積極的に参加できるよう呼びかける。</p> <p>・活動の様子を廊下に掲示したり、学校園だよりに掲載したりして、活動内容が生徒や保護者に伝わるようにする。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は教職員 95.2%，保護者 93.3%，地域住民 96.0%，生徒 85.9%で目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・今後も、小中の交流活動を継続して行い、小中一貫教育・地域学校園の取組を強化していく。 ・学校園だよりや学校だより・学校HPを活用して、地域学校園の取組を保護者・地域住民に周知する。</p>

<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答各 85%以上</p>	<p>・学校支援ボランティアの協力を得て、学校の環境整備の充実を図る。</p> <p>・学校だよりや各種だよりを定期的に発行するとともに、ホームページを随時更新するなどして、学校から情報を積極的に発信し、家庭・地域に連携を呼びかける。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 93.0%、保護者 94.8%、地域住民 92.6%で、目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・学校支援ボランティアの協力を得て、学校の施設設備や教育環境の充実を図る。</p> <p>・PTAと継続的に連携していく</p> <p>・学校だよりや各種だよりを定期的に発行するとともに、ホームページを随時更新するなどして、学校から情報を積極的に発信し、家庭・地域に連携を呼びかける。</p>
<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答各 85%以上</p>	<p>・生徒のボランティア活動引率等について、PTAと連携の在り方について検討する。</p> <p>・キャリア教育への生徒の意識を高めるため、外部講師等を積極的に活用するとともに、宮っ子チャレンジウィークを積極的に活用する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 93.0%、保護者 94.8%、地域住民 92.6%で目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・生徒のボランティア活動引率等について、PTAと今後とも継続的に連携を進めていく。</p> <p>・キャリア教育への生徒の意識を高めるため、外部講師等を積極的に活用するとともに、宮っ子チャレンジウィークを積極的に、継続的に活用する。</p>
<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケートの「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 ⇒教職員・保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>・定期的に校内施設等の安全点検を実施するなど環境整備を心がける。</p> <p>・災害時など必要に応じて点検項目を設定し、臨時点検を実施する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 97.7%、保護者 95.3%、地域住民 100%で、目標を達成した。今年度は、避難所の備蓄品等についても、地域の関係者とともに確認した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今後も、避難所開設時を含めた校内安全点検を確実に実施するとともに、市や地域関係者と連携して利用者の安全確保に努める。</p>
<p>A25 学校は、学習に必要な ICT 機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「生徒は、ICT 機器や図書等を学習に活用している。」 ⇒生徒・教職員の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・備品購入希望調査や図書購入希望調査を活用して、ICT 機器や図書等の整備の充実を図る。</p> <p>・それぞれが利用しやすいよう配置等の工夫を行う。</p> <p>・タブレット型パソコンを活用した授業を実施する(11 月導入予定)。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 79.1%、生徒 70.0%で目標を達成することができなかった。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・学年優先週間を設け、コンピュータ室利用を促進する。</p> <p>・ソフトウェア研修を実施し、タブレット型パソコンの活用推進を図る。</p> <p>・学校ホームページを通して ICT 機器利用や図書室利用状況を積極的に発信する。</p>

本校の特色・課題	<p>B3 教師は、生徒の良さや頑張りを認め、ほめている。</p> <p>【新規】</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「先生方は、生徒の良いところや頑張ったことをほめてくれる」 ⇒教職員・生徒の肯定的回答各 80%以上</p>	<p>・道徳科の授業や学級活動、学校行事、部活動をはじめ、日常生活の中で一人一人の良さを認め、励まし、称賛して、生徒が自己肯定感を高めることができるよう、全校体制で取り組む。</p> <p>・生徒理解を深めることができるよう、教職員間で生徒に関する情報交換を積極的に行う。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>肯定的回答は教職員 100%、生徒 95.7%で、目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・道徳科の授業や学級活動、学校行事、部活動をはじめ、日常生活の中で一人一人の良さを認め、励まし、称賛して、生徒が自己肯定感を高めることができるよう、今後も全校体制で取り組む。</p> <p>・生徒理解を深めることができるよう、教職員間で生徒に関する情報交換を積極的に行う。</p>
	<p>B4 生徒は、雀中そーらんや合唱コンクールなどの行事に精一杯取り組み、やり遂げた。</p> <p>【数値指標】</p> <p>全体アンケート「私は、雀中そーらんや合唱コンクールに精一杯取り組み、やりとげることができた」 ⇒生徒の肯定的回答 95%</p>	<p>・雀中そーらん・合唱コンクールともに本校の伝統行事である。今後も実行委員会形式による生徒主体の取組を展開し、互いに認め、励まし合うことを通して、仲間と共によりよいものを創り出そうとする意識や、目標に向かってあきらめず、粘り強く努力するなどの豊かな心の醸成に努める。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>生徒の肯定的回答は 97.7%で目標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今後も生徒主体の取組を展開し、認め、励まし合い、仲間と共によりよいものを創り出そうとする意識や、目標に向かって粘り強く努力するなどの豊かな心の醸成に努める。</p> <p>・本校の伝統を大切にし、指導用DVDを作成して練習の方法等について工夫するなど、教職員・生徒に過度な負担がかからないよう配慮する。</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・市中学校の平均と比較して、肯定的回答がほとんどの項目で、教職員・保護者・地域住民・生徒ともに上回っている。
 - 中学生が小学校を訪問して行うあいさつ運動や、小中が合同で行う南図書館清掃などが、「小中一貫・地域学校園」の取組であることについて生徒への周知を図ったところ、生徒の肯定的回答の割合が高まった。今後も、取組の趣旨や目的についての事前説明を丁寧に行っていく。
 - ・A1「生徒は進んで学習に取り組んでいる。」については、教職員と保護者の肯定的回答が上昇した（教職員 88.1%→100% 保護者 87.2%→93.5%）。これは、本校の重点目標「基礎的知識・技能を活用しながら、主体的に考え、表現ができる生徒の育成」に基づき、全教職員が授業の工夫・改善に努めた成果であると考えられる。今後も、生徒の学力向上に向けた授業改善に取り組んでいく。
 - ・B4「生徒は、雀中そーらんや合唱コンクールなどの行事に精一杯取り組み、やり遂げた。」における肯定的回答は、例年と同様、教職員・保護者・地域住民・生徒ともに非常に高い数値となっている。両行事とも、保護者や地域住民から愛されており、生徒もやり遂げることで自信と誇りを持つことができている。今後もこれらの行事を大切にしていきたい。
 - ・今年度より、全市共通の質問項目が大きく変更されたため、学校の取組が十分対応しきれず、新設された 15 項目のうち、5 項目で目標を達成することができなかった。次年度は、教職員への周知徹底を図り、目標を達成するための具体的な取組の充実を図っていく。
- 目標を達成することができなかった項目**
- ・A9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。
 - ・A10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。（A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。）
 - ・A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。
 - ・A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。
 - ・A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。
- ・上記のうち、特に A10、A25 については、今年度 12 月にタブレットパソコンが本校に導入されたこと、また、ICT に対応できる人材の育成は時代の要請でもあることから、全校体制で取組の充実を図っていく。
 - ・A17「学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。」については、生徒の肯定的回答が 89.8%（前年度 93.1%）と低下し、数値的な目標を達成することができなかった。本項目で、生徒の肯定的回答が 90%未満となるのは平成 23 年以來であることから、原因を分析し、有効な対策を講じることが喫緊の課題である。

7 学校関係者評価

- ・B1「生徒は自分の良いところを理解している（自己肯定感を持っている）。」を質問項目に設定したことは良い（同意見多数）。自分にも良いところや頑張っていることがあることに気づく（気づかせる）ことが自信や他者へのやさしさにつながると思う。「突出した良いところでなくてもいいんだ」ということを理解させてほしい。
- ・生徒のあいさつは良くできていると感じる。登下校の立哨で、こちらからあいさつすると返事をしてくれたり、声をかけてくれたりと会話になってきた。先生方にも、生徒に負けたくないようなしっかりしたあいさつをお願いしたい。
- ・校外でのあいさつは、グループで通るかかる生徒たちはあいさつしてくれるが、一人で歩いている生徒はあまりしない傾向がある。
- ・地域の人たちへのあいさつはどう考えているか。
→教職員も、生徒の地域の方へのあいさつが足りないのではないかと感じている。校外でもしっかりしたあいさつができるよう生徒への啓発を図っていく。
- ・中学生のボランティア活動には大変助かっている。今後も、ぜひお願いしたい。
→地域が中学生を受け入れ、活動の場を提供していただいていることに学校としても感謝している。持続可能な活動となるよう、今後ともご協力をお願いしたい。
- ・学校が重点目標として掲げた項目の数値が上昇しているのは心強い。
- ・A9「児童生徒は宇都宮の良さを知っている」、A12「児童生徒は、『持続可能な社会』について、関心を持っている。」の質問項目は、抽象的で難しいのではないかと。どのように明確に伝えていくか検討していただきたい。
- ・A9について、「安全・安心に暮らせる」、「便利に暮らせる」など、具体例を入れると答えやすいのではないかと。
- ・A9について、保護者と生徒の肯定的回答割合に大きな差があるのは、家庭での両者の会話が少ないことも影響しているのではないかと。会話ができれば、そこから宇都宮の良さの理解につながっていくのではないかと。保護者や地域コミュニティの問題としても考えていきたい。
- ・A10「児童生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。」については、ただ使うだけでなく、効果的な方法を検討したうえで活用すると良いのではないかと。
- ・A12について、小学校ではSDGsの17項目のうち、児童の生活と結びつきの深いものを重点化したいと考えている。
- ・A20「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」については、保護者へ丁寧に説明して理解を得ながら、働き方改革を推進していただきたい。
- ・A21「学校は、『小中一貫・地域学校園』の取組を行っている。」について、小学校ではこれほど数値は高くはない。中学校では、生徒へ目的や取組内容の周知を図ったことで、肯定的回答割合が高くなったとのことなので、小学校でも啓発の在り方を検討していきたい。
- ・中学生が小学校を訪問してのあいさつ運動は、今後も継続していただきたい。
- ・女子生徒が、公園等で孫と一緒に遊んでくれる。ほほえましい。
- ・読み聞かせボランティアとして参加している。中学生が絵本の読み聞かせを聞いてくれるのか心配だったが、きちんとした態度で聞いてくれて安心した。感想文を読むと、中学生になると読みが深くなっていることに感心した。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・今年度の学校の重点目標、それへの取組と成果について、概ね良好な評価をいただくことができた。次年度も、自己肯定感を高める取組、認め合い助け合う学級づくり、あいさつ運動、ボランティア活動などに積極的に取り組み、保護者・地域とともに「特色ある学校づくり」を推進する。
- ・全教職員が一丸となり、教育活動の全ての場面において「生徒の良さを認め、励ます」教育を実践して、互いに認め合い助け合う集団を育成し、いじめ・不登校等の未然防止に努める。
- ・今年度より新設された項目については、活動の充実が図れるよう、全教職員で取組内容を検討し、全校体制で取り組んでいく。
- ・より良い授業づくりと生徒と向き合う時間の確保に向け、行事の持ち方や会議の運営方法について検討するとともに、教職員一人一人が勤務時間管理への意識を高め、業務の効率化を図るなど、学校の働き方改革を推進する。
- 「小中一貫教育・地域学校園」の取組については、地域学校園あいさつ運動や南図書館清掃を継続するとともに、英語の乗り入れ授業の持ち方について検討し、小中の教職員が授業力を向上させ、小学校から中学校への英語学習が円滑に進められるようにする。
- ・生徒の学力向上や教職員の業務改善に向けたICTの有効な活用方法について検討し、実践する。
- ・「宇都宮の良さ」については、これまでの学校における取組に加え、地域の方々からも協力を得るなどして、多角的・多面的な理解となるよう心掛ける。